



縁

この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和2年度学校だよりNo.3
令和2年5月15日
文責 校長 吉尾直樹

学校に子どもたちの声と笑顔が戻ってきました

5月11日 学校再開

4月の学校だよりから1か月が過ぎてしまいました。新型コロナウイルス感染症の対応に追われ、発行できなかったことをお詫びいたします。臨時休業中の子どもたちは、朝からの運動を終えると、自宅学習の時間割にしたがって、美術科のスケッチをはじめ、各教科からの課題に懸命に取り組みました。なかなか自分だけで学習に取り組むことは難しかったと思いますが、家庭訪問や電話等でできる限りの支援を行いました。ただ、子どもたちがしっかりと取り組むことができたのは各家庭でのご支援のおかげだと思います。ありがとうございました。

そして、5月1日からの登校日を経て、今週からようやく通常登校に戻りました。やはり、学校での子どもたちの声や笑顔が、われわれ教職員の元気の源だと改めて実感いたします。また、授業では自宅学習ではできなかった活動に取り組んだり、自宅学習の学習内容の確認と復習を行ったりしています。ぜひ、今週中に自宅学習での内容の定着を図りたいと思います。なお、平戸市では今回の臨時休業にともない、夏休み期間の短縮を検討しています。今月中には決定し、お知らせしたいと考えています。



マスクを寄贈していただきました

5月7日 大島村まちづくり協議会

7日の登校日に、大島村まちづくり協議会から生徒に布マスクを寄贈していただきました。マスクは、しっかりとプリーツも折り込んでいねいな作りで、色や柄も可愛いものでした。

この感染症対策が長期化する中で、学校でマスクをつけることが多く、とてもありがたいです。感謝申し上げます。

また、前平から学校への通学路の途中にある階段に落ち葉や小さな落石があったのですが、近所に住まわれている方が子どもたちのためにときれいにしてくださいました。本当にありがとうございます。マスクのことや通学路の清掃など、地域のみなさんに支えられ、大島の子どもたちが無事に学校生活を送れているのだと改めて感じます。

4月後半から学校のグラウンドも草が目立つようになり、きれいに子どもたちを迎えようと除草作業に取り組んできました。また、通学路周辺の草も目立つようになってきました。各地区での除草作業の際は、ご協力いただきますようお願いいたします。



長崎県は緊急事態宣言対象地域からようやく解除されましたが、新型コロナウイルス感染の危険がなくなったわけではありません。「3つの密」を防止しつつ、子どもたちの学校生活の充実のためにさまざまな取組を進めて行きます。

今後も、ご家庭での毎朝の検温と健康状態の確認、不要不急の島外への外出の自粛に努めていただきますようお願いいたします。

6月以降の学校の予定については、現在、その見直しを進めています。決定次第、文書等でお知らせします。

